

ウィキペディア

## 隈研吾

出典:フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』

**隈 研吾**（くま けんご、1954年〈昭和29年〉8月8日 - ）は、日本の建築家（一級建築士）、デザイナー<sup>[1]</sup>。神奈川県横浜市出身。著名な親族として、妻・篠原聡子（建築家）のほか、遠い親戚の後藤勇吉（航空機パイロット）がいる<sup>[2]</sup>。

株式会社隈研吾建築都市設計事務所主宰。東京大学教授。高知県立林業大学校（https://kochi-forestry.ac.jp）校長。1990年代半ば以降（ゆすはら座関連設計以降）、木材を使うなど「和（日本）」をイメージしたデザインを旨としており<sup>[3]</sup>、「和の大家」とも称される<sup>[3]</sup>。

### 目次

**来歴**

**栄典**

**受賞**

**著書**

**作品集・関連書籍**

**建築作品**

1980年代

1990年代

2000年代前半

2000年代後半

2010年代前半

2010年代後半

2020年代前半

進行中

**パビリオン作品**

**出演**

**隈事務所出身の建築家**

**その他**

**脚注**

注釈

出典

**外部リンク**

### 来歴

神奈川県横浜市大倉山出身。三菱金属鉱業（現・三菱マテリアル）のサラリーマンであった父親（長崎県大村市出身で東京・日本橋育ち<sup>[4]</sup>）が45歳の時の息子で<sup>[5]</sup><sup>[6]</sup>、医院を営んでいた母方の祖父が建てた大倉山駅近くの古い家で育つ<sup>[5]</sup><sup>[7]</sup>。

初めは猫好きゆえに獣医を志していたが、家屋の修繕をするデザイン好きの父親に付き合ううちに、建築に興味を持つようになる<sup>[6]</sup>。大田区立田園調布小学校に通っている時、1964年（昭和39年）の開催を控えた東京オリンピックの建築物を目にし、いよいよ本気で建築家を志すこととなった<sup>[5]</sup><sup>[8]</sup>。栄光学園高校では、189センチメートルの長身を生かしてバスケットボール部でセンターを守っていた<sup>[8]</sup>。

東京大学工学部建築学科を卒業後、東京大学大学院建築意匠専攻修士課程を修了（1979年<sup>[9]</sup>）。在学中は、芦原義信、楨文彦、内田祥哉、原広司らに師事した。同級生には小林克弘（首都大学東京教授）や大江匡（建築家）、村田蒼之（大成建設）がいた<sup>[9]</sup>。

大学院で修士論文を書いていた時期に、同級生の多くは当時話題の新鋭・安藤忠雄に憧れていたが、隈はその逆を行くことを選択し、アトリエ系事務所ではなく、社会に採まれるためにと大手設計事務所の日本設計に就職した<sup>[11]</sup>。

その後、戸田建設、米国コロンビア大学建築・都市計画学科客員研究員（1985-1986年〈昭和60～61年〉）を経て、1990年（平成2年）に隈研吾建築都市設計事務所を設立する。法政大学工学部建設工学科非常勤講師、慶應義塾大学環境情報学部特別招聘教授（1998年〈平成10年〉4月から1999年〈平成11年〉3月）、早稲田バウハウス・スクール講師（1999年〈平成11年〉から2002年〈平成14年〉春・夏）、慶應義塾大学理工学部客員教授（2002年〈平成14年〉4月から2007年〈平成19年〉3月）慶應義塾大学理工学部システムデザイン工学科教授（2007年〈平成19年〉から2009年〈平成21年〉3月）、米国イリノイ大学建築学科客員教授（2007年〈平成19年〉から2008年〈平成20年〉）を経て、2009年（平成21年）4月より東京大学工学部建築学科教授に就任。2007年（平成19年）3月に博士論文『建築設計・生産の実践に基づく20世紀建築デザインと大衆社会の関係性についての考察』を慶應義塾大学に提出し、博士（学術）の学位を取得。2008年（平成20年）には、フランスの首都パリに Kuma & Associates Europe を設立。2018年（平成30年）には、開校予定の高知県立林業大学校の初代校長に決まる<sup>[12]</sup>。

隈研吾	
<span></span> <div>2014年6月（60歳前）</div>	
生誕	1954年8月8日（65歳） <div> <div><div><span><span>●</span></span><div><div><span><span></span></span></div></div></div><div>日本 神奈川県横浜市</div></div></div>
国籍	<span><span><span><span></span></span><span> </span></span>日本</span>
出身校	東京大学大学院建築意匠専攻
職業	建築家
配偶者	篠原聡子
受賞	日本建築学会賞作品賞（1997年） <div> 村野藤吾賞（2001年）<div> リーフ賞（2008年）<div> 毎日芸術賞（2010年）<div> 芸術選奨（2011年）</div></div></div></div>

初期はドーリック南青山ビルやM2ビルなどポストモダニズムに一部脱構築主義要素を加えた建物を発表していたが、高知県高岡郡椿原町の「ゆすはら座」存続への関わりをきっかけとして<sup>[13]</sup>、木材などの自然素材を生かした建築や、縦格子を多用したデザインが特徴的な作品を多く手がけるようになる。

木材を多用するようになったのは、阪神大震災（1995年）と東日本大震災（2011年）を見て、コンクリートなどの人工物で自然に立ち向かおうとする20世紀の思想が破綻したと感じたためであると回顧している。森林を手入れして生み出す木材は、人間と地球をつなぎ合わせる存在と位置付けている。また大型の公共建築物が「税金の無駄遣い」「環境破壊」と批判されるようになった時代に育ったうえ、経済成長の鈍化と高齢化が進んでいる日本の現状を見据え、周囲に調和した「負ける建築」や、「コンクリートと鉄の時代」を「木の時代」に変えることを志向している<sup>[14]</sup>。

近年は活躍の場を海外にも広げ、国際コンペでの受賞も着実に増やしており、世界的に注目される日本人建築家の一人として認識されつつある。また、設計のほか、ホテルやマンションの監修、室内演出や家具<sup>[15]</sup>、食器、スニーカーなどのデザイン<sup>[1]</sup>も手掛ける。

2010年代には、自らのデザインポイントの一つとして、ストラクチャーを際立たせ過ぎないための「粒感」を挙げている<sup>[16]</sup>。

2005年日本国際博覧会（愛知万博）では、会場計画プロジェクトチームに所属して会場とパビリオンの設計に携わっていたが、自然保護団体の反対で度々計画が縮小したため、辞任した。

中華人民共和国北京市郊外のグレート（バンブー）ウォールは2008年北京オリンピックのCMにも使われた<sup>[17]</sup>。韓国では、知韓派の建築家として活動している<sup>[18]</sup>。

2018年（平成30年）には、約30年間の活動を紹介する個展「くまのもの」（会期：3月3日～5月6日）を東京駅構内の東京ステーションギャラリーで開催し<sup>[19]</sup>、これまで使ってきた10種類の素材（竹、木、紙、土、石、金属、ガラス、瓦、樹脂、膜・繊維）ごとに合計75件のプロジェクトの模型・資料などを展示した<sup>[20]</sup>。

2018年（平成30年）、高知県立林業大学校 (<https://kochi-forestry.ac.jp>) 校長に就任。

現在早稲田大学特命教授であり、兼てより親交の深い村上春樹の要請により、2020年（令和2年）4月オープン予定の早稲田大学国際文学館、通称「村上春樹ライブラリー」の設計を担当することが決定した<sup>[21]</sup>。

## 栄典

- 2009年（平成21年） - フランス芸術文化勲章オフィシエ
- 2019年（令和元年） - 紫綬褒章

## 受賞

- 1997年（平成9年） - 日本建築学会賞作品賞（登米町伝統芸能館）
- 2001年（平成13年） - 村野藤吾賞（那珂川町馬頭広重美術館）
- 2010年（平成22年） - 毎日芸術賞（根津美術館）
- 2011年（平成23年） - 芸術選奨文部科学大臣賞（梶原・木橋ミュージアム）

## 著書

- 隈研吾『10宅論—10種類の日本人が住む10種類の住宅』トーソー出版、1986年10月1日。OCLC 47437733 (<https://www.worldcat.org/oclc/47437733>)。ISBN 4-924618-05-5、ISBN 978-4-924618-05-3。
  - 新装版：隈研吾『10宅論—10種類の日本人が住む10種類の住宅』筑摩書房〈ちくま文庫〉、1990年2月27日（原著1986年10月1日）。OCLC 33712399 (<https://www.worldcat.org/oclc/33712399>)。ISBN 4-480-02382-8、ISBN 978-4-480-02382-7。
- 隈研吾『グッドバイ・ポストモダン—11人のアメリカ建築家』鹿島出版会、1989年7月1日。OCLC 1110580652 (<https://www.worldcat.org/oclc/1110580652>)。ISBN 4-306-04259-6、ISBN 978-4-306-04259-9。
- 隈研吾『新・建築入門—思想と歴史』筑摩書房〈ちくま新書 016〉、1994年11月20日。OCLC 47338058 (<https://www.worldcat.org/oclc/47338058>)。ISBN 4-480-05616-5、ISBN 978-4-480-05616-0。
- 隈研吾『建築的欲望の終焉』新曜社、1994年12月16日。OCLC 51792901 (<https://www.worldcat.org/oclc/51792901>)。ISBN 4-7885-0508-8、ISBN 978-4-7885-0508-7。
- 隈研吾『建築の危機を超えて』TOTO出版、1995年2月10日。OCLC 673957399 (<https://www.worldcat.org/oclc/673957399>)。ISBN 4-88706-112-9、ISBN 978-4-88706-112-5。
- 隈研吾『負ける建築』岩波書店、2004年3月25日。OCLC 122908942 (<https://www.worldcat.org/oclc/122908942>)。ISBN 4-00-002159-1、ISBN 978-4-00-002159-3。
- 隈研吾（著）『隈研吾：レクチャー／ダイアログ』メディア・デザイン研究所（編集）、INAX出版、2007年9月30日。OCLC 180881740 (<https://www.worldcat.org/oclc/180881740>)。ISBN 4-87275-144-2、ISBN 978-4-87275-144-4。
- 隈研吾、清野由美『新・都市論TOKYO』集英社〈集英社新書 0426B〉、2008年1月17日。OCLC 705675044 (<https://www.worldcat.org/oclc/705675044>)。ISBN 4-08-720426-X、ISBN 978-4-08-720426-1。
- 隈研吾『自然な建築』岩波書店〈岩波新書 新赤版 1160〉、2008年11月20日。OCLC 276981037 (<https://www.worldcat.org/oclc/276981037>)。ISBN 4-00-431160-8、ISBN 978-4-00-431160-7。
- 隈研吾『反オブジェクト—建築を溶かし、砕く』筑摩書房〈ちくま学芸文庫 ク18-1〉、2009年5月11日。OCLC 1020978892 (<https://www.worldcat.org/oclc/1020978892>)。ISBN 4-480-09217-X、ISBN 978-4-480-09217-5。
- 長井宏憲（著）『素材の系譜—動物が巣をつくるようにして建築をつくる』隈研吾（監修）、グラフィック社、2009年12月25日。OCLC 703359053 (<https://www.worldcat.org/oclc/703359053>)。ISBN 4-7661-2077-9、ISBN 978-4-7661-2077-6。

- 隈研吾、三浦展『三低主義』NTT出版、2010年1月28日。OCLC 502982501 (<https://www.worldcat.org/oclc/502982501>)。ISBN 4-7571-4239-0、ISBN 978-4-7571-4239-8。
- 『境界—世界を変える日本の空間操作術』隈研吾（監修）、高井潔（写真）、藤本壮介・石上純也（寄稿）、淡交社、2010年3月3日。OCLC 546180474 (<https://www.worldcat.org/oclc/546180474>)。ISBN 4-473-03645-6、ISBN 978-4-473-03645-2。
- 隈研吾、清野由美『新・ムラ論TOKYO』集英社〈集英社新書 1600〉、2011年7月15日。OCLC 763069724 (<https://www.worldcat.org/oclc/763069724>)。ISBN 4-08-720600-9、ISBN 978-4-08-720600-5。
- 隈研吾『場所原論—建築はいかにして場所と接続するか ポスト震災の新しい建築哲学—18事例の素材・詳細を図解』市ヶ谷出版社、2012年1月1日。OCLC 775412917 (<https://www.worldcat.org/oclc/775412917>)。ISBN 4-87071-292-X、ISBN 978-4-87071-292-8。
- 養老孟司、隈研吾『日本人はどう住まうべきか?』日経BP、2012年2月2日。OCLC 816882086 (<https://www.worldcat.org/oclc/816882086>)。ISBN 4-8222-4889-5、ISBN 978-4-8222-4889-5。
- 隈研吾『対談集 つなぐ建築』岩波書店、2012年3月30日。OCLC 816909693 (<https://www.worldcat.org/oclc/816909693>)。ISBN 4-00-001406-4、ISBN 978-4-00-001406-9。

## 作品集・関連書籍

※**太字**は、当人もしくは当人の建築設計事務所による著述があることを示す。

- 『隈研吾読本 —1999 Digitag』 二川幸夫（企画・編集）、隈研吾（作）、A.D.A.EDITA Tokyo（エーディーエーエディタトーキョー）、1999年10月。OCLC 54554335 (<https://www.worldcat.org/oclc/54554335>)。ISBN 4-87140-654-7、ISBN 978-4-87140-654-3。
- 『隈研吾読本 —II (2004)』 二川幸夫（企画・編集）、隈研吾（作）、A.D.A.EDITA Tokyo（エーディーエーエディタトーキョー）、2004年11月。OCLC 60806212 (<https://www.worldcat.org/oclc/60806212>)。ISBN 4-87140-661-X、ISBN 978-4-87140-661-1。
- 「The Japan architect 38 — Summer 2000 隈研吾 (<https://shinkenchiku.online/shop/japan-architect/ja-38/>)」、新建築社、2000年7月、OCLC 959722433 (<https://www.worldcat.org/oclc/959722433>)。ISBN 4-7869-0155-5、ISBN 978-4-7869-0155-3。
- 隈研吾建築都市設計事務所（編著）、隈研吾（文）『隈研吾／マテリアル・ストラクチャーのディテール (<http://www.shokokusha.co.jp/?p=649>)』彰国社、2003年8月9日。OCLC 676506710 (<https://www.worldcat.org/oclc/676506710>)。ISBN 4-395-11112-2、ISBN 978-4-395-11112-1。
- Bognar, Botond (7 April 2005) (英語). *Kengo Kuma: Selected Works*. Hudson, New York: Princeton Architectural Press. OCLC 932531740 (<https://www.worldcat.org/oclc/932531740>).ISBN 1-5689-8468-5, ISBN 978-1-5689-8468-1.
- 『GA Architect 19 隈研吾』 二川幸夫（編集）、隈研吾（作）、渡辺洋・谷理佐（英訳）、A.D.A.EDITA Tokyo（エーディーエーエディタトーキョー）、2005年9月。OCLC 1006946586 (<https://www.worldcat.org/oclc/1006946586>)。ISBN 4-87140-427-7、ISBN 978-4-87140-427-3。
- Alini, Luigi; Kuma, Kengo (1 June 2006) (英語). *Kengo Kuma: Works and Projects: architecture*. London and New York City: Phaidon Press. OCLC 467105754 (<https://www.worldcat.org/oclc/467105754>).ISBN 1-9043-1342-6, ISBN 978-1-9043-1342-7.
- 『KENGO KUMA RECENT PROJECT / 隈研吾最新プロジェクト』 二川幸夫（編集）、隈研吾（作）、A.D.A.EDITA Tokyo（エーディーエーエディタトーキョー）、2009年5月1日。OCLC 394970389 (<https://www.worldcat.org/oclc/394970389>)。ISBN 4-8714-0665-2、ISBN 978-4-8714-0665-9。
- Kengo Kuma & Associates** (15 October 2009) (英語). *Studies in Organic Kengo Kuma & Associates*. Tokyo: TOTO Shuppan. OCLC 703424739 (<https://www.worldcat.org/oclc/703424739>).ISBN 4-8870-6305-9, ISBN 978-4-8870-6305-1.
- Bognar, Botond (4 November 2009) (英語). *Material Immaterial: The New Work of Kengo Kuma*. London and New York City: Phaidon Press. OCLC 690405425 (<https://www.worldcat.org/oclc/690405425>).ISBN 1-5689-8779-X, ISBN 978-1-5689-8779-8.
- 『NA建築家シリーズ02 隈研吾』日経アーキテクチュア 編、日経BP〈NA建築家シリーズ2〉、2010年6月24日、初版。OCLC 1006970616 (<https://www.worldcat.org/oclc/1006970616>)。ISBN 4-8222-6679-6、ISBN 978-4-8222-6679-0。
- (イタリア語) *I Maestri dell'Architettura Kengo Kuma* (<https://kkaa.co.jp/books/i-maestri-dellarchitettura-kengo-kuma/>). Hachette Fascicoli. (Marzo 2012).
- 隈研吾建築都市設計事務所 編著『隈研吾／極小・小・中・大のディテール』彰国社、2012年6月。OCLC 794364073 (<https://www.worldcat.org/oclc/794364073>)。ISBN 4-395-02501-3、ISBN 978-4-395-02501-5。

## 建築作品

手掛けた建築作品を、竣工もしくは納品した時期の古いほうから順に記載する（内装など、厳密には「建築」ではない作品も含む）。ただし、月日の情報を欠く物件が多く、同じ年に完成した物件の記載順は甚だ不正確なものにならざるを得ない。月日の情報を確認できるものを先に記す。作品（物件）の名義も、なるべく正確性を期すが、一次資料の時点で不正確なものが珍しくない。また、依頼者と設計者で用いる名称が異なる場合は、前者を主、後者を副とする。

### 1980年代

#### 1985年（昭和60年）

- バルブ・ショップ

#### 1986年（昭和61年）

- 経堂グレーチング - 共同住宅。

#### 1988年（昭和63年）

- 伊豆の風呂小屋 - 別荘。

#### 1989年（平成元年）

- 建築史再考

当年9月竣工。東京都港区南青山2-14-17に所在する<sup>[gm 1]</sup>テナントビル。設計：空間研究所（隈研吾）。施工：間組。用途：店舗、事務所、集合住宅。

- GT-M - シヨールーム。

#### 1990年代

##### 1990年（平成2年）

- De町屋

##### 1991年（平成3年）

- RUSTICビル（都住創ラスティックビル）

当年1月竣工。東京都新宿区天神町77に所在する<sup>[gm 2]</sup>オフィスビル（コーポラティブオフィスビルディング、cf. コーポラティブハウス）。施工：井上工業。用途：事務所。

- ドーリック南青山ビル

当年9月竣工。東京都港区南青山2-27-14に所在する<sup>[gm 3]</sup>、事務所・店舗用の複合ビル。M2ビルと共に、活動初期を代表するポストモダン建築作品の一つで、ギリシア建築のドーリア式エントサシに似たエレベーター塔が聳え立つ。■右列に画像あり



ドーリック南青山ビル M2ビル（東京メモリードホール）

- M2ビル

当年10月竣工<sup>[22]</sup>、11月28日開業の、商業施設として建設されたビル。東京都世田谷区砧2-4-27に所在<sup>[gm 4]</sup>。自動車メーカー・マツダの子会社であるデザイン・ラボ「M2」の本社ビルとして環状八号線沿いに建設された。「M2」は「第2のマツダ」を意味する。2002年（平成14年）に冠婚葬祭サービス業の株式会社メモリードに売却され、齋場「東京メモリードホール」となって今に到る<sup>[22][23]</sup>。デザインはほぼオリジナルのまま転用されており<sup>[22]</sup>、「M2ビル」という建造物名も継承されている<sup>[23]</sup>。ドーリック南青山ビルと共に、活動初期を代表するポストモダン建築作品の一つで、イオニア式ギリシア建築などを強く意識させる設計となっている。■右列に画像あり

- マイトン・リゾート

タイ王国ブーケット島のブーケット島の南東沖にあるマイトン島（Mai Thon Island, Maiton Island）のリゾート施設。

##### 1992年（平成4年）

- 鬼ノ城ゴルフ倶楽部 クラブハウス [1] (<http://www.kinojo.kibi.jp/>)

岡山県総社市奥坂666に所在する<sup>[gm 5]</sup>、ゴルフクラブのクラブハウス。

##### 1994年（平成6年）

- 梶原町地域交流施設（現・雲の上のホテル） [2] (<http://kumono-ue.jp/top.php>)

高知県高岡郡梶原町太郎川13799-3に所在。■右列に画像あり

- MAN-JU - 福岡県福岡市早良区に所在する飲食店店舗。
- 亀老山展望台 <sup>[gm 6]</sup> - 愛媛県今治市吉海町名に所在。



梶原町地域交流施設（現・雲の上のホテル）

##### 1995年（平成7年）

- ATAMI 海峯楼「水 / ガラス」 [3] (<http://www.atamikaihourou.jp/>)

静岡県熱海市春日町8-33に所在するリゾートホテル「ATAMI 海峯楼」<sup>[gm 7]</sup>内の一施設。

- ヴェネツィア・ビエンナーレ日本館展示

##### 1996年（平成8年）

- 乙字亭「川 / フィルター」

当年12月竣工。福島県石川郡玉川村大字竜崎字滝山12-26に所在する飲食店店舗。<sup>[gm 8]</sup>

- レイクウッドゴルフクラブ富岡コース「ガラス / 影」

群馬県富岡市小桑原432に所在するゴルフクラブのクラブハウス<sup>[gm 9]</sup>。

- 伝統芸能伝承館森舞台

宮城県登米郡登米町寺池上町42に所在する<sup>[gm 10]</sup>、博物館と能舞台の複合施設。第48回（1997年度）日本建築学会賞受賞。■右列に画像あり

#### 1998年（平成10年）

- 神戸淡路鳴門自動車道淡路サービスエリア 下り線休憩施設 [4] (<http://www.jb-highway.co.jp/sapa/awaji.html>)

#### 1999年（平成11年）

- ゲストハウス「森 / スラット」

当年3月竣工。神奈川県三浦郡葉山町に所在。

- 北上川・運河交流館 水の洞窟

宮城県石巻市水押3-6-1<sup>[gm 11]</sup>に所在する博物館。建物は旧北上川の河川公園の土手に埋もれたように行む。

### 2000年代前半

#### 2000年（平成12年）

- 作新学院大学 [5] (<http://www.sakushin-u.ac.jp/>)
- 幕張集合住宅
- 高柳町陽の楽屋 - 集会施設。
- 那須歴史探訪館
- 那珂川町馬頭広重美術館 - 第14回（2001年度）村野藤吾賞などの受賞。[6] (<http://www.hiroshige.bato.tochigi.jp/batou/hp/index.html>)
- 石の美術館 - 栃木県那須郡那須町に所在。■右列に画像あり

#### 2001年（平成13年）

- 高崎駐車場 (WEST PARK 1000) ■右列に画像あり
- 県南総合防災センター - 茨城県北相馬郡藤代町に所在。[7] (<http://www.jyousou-koiki.or.jp/bosai/gaiyo.html>)
- レストラン ソル・ポニエンテ「海 / フィルター」 [8] (<http://www.sol-poniente.co.jp/>)
- 銀山温泉共同浴場「しろがね湯」 [9] (<http://www.ginzanonsen.jp/sansaku.html>)

#### 2002年（平成14年）

- ゲストハウス「GREAT (BAMBOO) WALL」 - 中国の北京市に所在。
- Plastic House - 住宅。
- 安養寺木造阿弥陀如来坐像收藏施設
- ADK松竹スクエア - 東京都中央区築地に所在する複合商業施設。

#### 2003年（平成15年）

- 住まいのデパート「ペタくん」 - 展示場。
- 蓬萊古々比の瀧 - 熱海温泉の旅館。[10] (<http://www.izusan-horai.com/>)
- 奥社の茶屋 - 戸隠の蕎麦屋。[11] (<http://r.tabelog.com/nagano/A2001/A200101/20000345/>)
- 「森 / 床」 - 別荘。
- 梅窓院 [12] (<http://www.baisouin.or.jp/>)
- JR渋谷駅の改修
- ONE 表参道 - 複合商業施設。
- 浜名湖花博メインゲート

#### 2004年（平成16年）

- きららガラス未来館 [13] (<http://www.onodaglass.jp/index.html>)
- 分とく山 本店 - 日本料理店。[14] (<http://r.tabelog.com/tokyo/A1307/A130703/13005469/>)
- 暗闇坂宮下 青山 - 日本料理店。
- 食と農」の博物館 - 東京農業大学の施設。[15] (<http://www.nodai.ac.jp/syokutonou/>)



伝統芸能伝承館森舞台



石の美術館



高崎駐車場 (WEST PARK 1000)

- 東雲キャナルコートCODAN3街区 - 東京都江東区に所在。
- 村井正誠記念美術館 [16] (<http://www.muraimasanari.com/>)
- LVMH大阪 - オフィス・店舗。

## 2000年代後半

### 2005年（平成17年）

- NTT青山ビル改修 - エスコルテ青山。
- COCON KARASUMA - 旧・京都丸紅ビルの改装。 [17] (<http://coconkarasuma.com/>)
- 福崎空中広場
- 長崎県美術館 [18] (<http://www.nagasaki-museum.jp/>) ■右列に画像あり
- The Scape - 共同住宅。
- 萬來舎継承空間 [19] ([http://www.keio.ac.jp/ja/contents/history\\_topics/4.html](http://www.keio.ac.jp/ja/contents/history_topics/4.html))
- Lotus House - 住宅。
- 愛知万博2005（計画案）
- JR宝積寺駅前グリーンシェルター



長崎県美術館

### 2006年（平成18年）

- 橋原町総合庁舎

当年10月竣工<sup>[24]</sup>。高知県高岡郡橋原町橋原1444-1に所在<sup>[gm 12]</sup>。設計者：慶應義塾大学理工学部システムデザイン工学科、および、隈研吾建築都市設計事務所<sup>[24]</sup>。

- Y HÜTTE - 別荘。
- ちよっ蔵広場 - JR宝積寺駅前に所在する、ホール・多目的展示場。
- ほしのさと増築工事 - 山口県下松市に所在する特別養護老人ホーム。 [20] (<http://hoshinosato.jp/>)
- 銀山温泉 藤屋 [21] (<http://www.fujiya-ginzan.com/>)
- Z58 <sup>[25]</sup>

当年7月竣工<sup>[25]</sup>。中国の上海市長寧区番禺路58号（近延安西路）に所在する<sup>[25][gm 13]</sup>、オフィス・ショールーム複合施設<sup>[25]</sup>。

### 2007年（平成19年）

- サントリー美術館（東京ミッドタウン内） [22] (<http://www.suntory.co.jp/sma/>) ■右列に画像あり
- ルシアン ベラフィネ 東京ミッドタウン店 [23] (<http://www.lucien-pellat-finet.jp/>)
- 「鉄」の家 - 住宅。
- 無印良品「窓の家」 - 商品化住宅。 [24] (<http://www.muji.net/ie/madonoie/>)
- SAKENOHANA - イギリスはロンドンに所在するレストラン。 [25] (<https://www.sakenohana.com/>)
- YIEN EAST - 別荘。
- 呉市音戸市民センター



サントリー美術館

### 2008年（平成20年）

- 朝日放送新社屋 [26] (<http://www.asahi.co.jp/abchall/>)
- 料亭開花亭別館「sou-an」 - 福井県福井市に所在。 [27] (<http://www.kaikatei.biz/sou-an/index.html>)
- 東都医療大学 [28] (<http://www.tohto.ac.jp/>)
- 京都造形芸術大学 至誠館 [29] (<http://www.kyoto-art.ac.jp/>)
- JR宝積寺駅 - 栃木県塩谷郡高根沢町に所在。
- The Opposite House - 中国は北京市に所在するホテル。 [30] (<http://www.theoppositehouse.com/>)
- 寿月堂 パリ店 - フランスはパリに所在。
- ティファニー 銀座 - 店舗・オフィス。 [31] (<http://www.tiffany.co.jp/>)
- 三里屯Village 北区/南区 - 中国は北京に所在する複合商業施設。
- wood/berg - 住宅。

### 2009年（平成21年）

- 根津美術館 本館（3代目）および NEZUCAFE <sup>[26][27]</sup>

当年2月28日竣工<sup>[28]</sup>。東京都港区南青山6-5-1に所在<sup>[gm 14]</sup>。「根津美術館」名義で、第52回（2009年度）BCS賞を受賞<sup>[28]</sup>（2010年（平成22年）に受賞）、第51回（2009年度）毎日芸術賞を受賞（2010年1月に受賞<sup>[29]</sup>）。■右列に画像あり。



根津美術館 本館（3代目）

- Cha Cha Moon (レストラン・ロンドン) [32] (<http://chachamoon.com/>)
- 史跡金山城跡ガイダンス施設・太田市金山地域交流センター
- ガーデンテラス長崎 - ホテル。 [33] (<http://www.gt-nagasaki.jp/>)
- 玉川高島屋S・C マロニエコート
- ルシアン ベラフィネ 心齋橋店 - 大阪府大阪市心齋橋に所在。

## 2010年代前半

### 2010年 (平成22年)

- 東急キャピトルタワー [34] (<http://www.capitolhoteltokyu.com/>)

当年7月31日竣工。東京都千代田区永田町2-10-3に所在<sup>[9m 15]</sup>。ザ・キャピトルホテル 東急が核テナントとして当年10月22日に開業したビル。コンセプトは「超高層ビルに下屋性を組み込む」<sup>[30]</sup>。■右列に画像あり。

- まちの駅「ゆすはら」（雲の上のホテル別館 マルシェ・ユスハラ）<sup>[31][32][33]</sup>

同年7月竣工<sup>[31]</sup>。高知県梶原町梶原1196-1に所在する町営ホテル<sup>[31][9m 16]</sup>で、アトリウムは市場（マルシェ）になっている<sup>[31]</sup>。1994年（平成6年）に隈研吾建築都市設計事務所が設計した「梶原町地域交流施設（現・雲の上のホテル）」の増築の一環。峠越えをする旅人を茅葺屋根の茶堂でもてなしてきた梶原の人々の昔話に触発され、地域の文化と伝統を茅葺の外壁でも表現している<sup>[31]</sup>。



東急キャピトルタワー

- 赤城神社（東京都新宿区赤城元町鎮座）の社殿と境内<sup>[34][35][36]</sup>

7月竣工、8月納品<sup>[34]</sup>。赤城神社再生プロジェクトの主要事業として、境内を一新する建て替えが行われ、境内は現代的な造りに変わった<sup>[36]</sup>。社殿の屋根は大和葺（2枚の板を互い違いに重ねて並べる屋根葺手法）を銅板で行った<sup>[36]</sup>。

- パークコート神楽坂<sup>[37][38][39]</sup>

7月竣工、8月納品<sup>[34]</sup>。11月6日販売開始<sup>[37]</sup>。上記の赤城神社に隣接する集合住宅（三井不動産レジデンシャルの定期借地権付き分譲マンション棟で<sup>[37]</sup>、土地所有者は赤城神社<sup>[37]</sup>）で、神社と一体感をもって設計された<sup>[34]</sup>。「マンションと神社の一体化を図る大和張り」というコンセプト<sup>[30]</sup>のとおり、壁面のデザインは社殿の大和葺と呼应させるべく、柱目様のアルミニウム製板材（アルミスクリーン）の大和張り（縦型）で仕上げられている<sup>[34]</sup>。2011年度グッドデザイン賞受賞<sup>[39]</sup>。

- 梶原 木橋ミュージアム（雲の上のギャラリー）<sup>[40]</sup>

同年9月竣工<sup>[40]</sup>。高知県梶原町太郎川3799-3に所在する、「雲の上のホテル」と「雲の上の温泉」を連結する通路兼ミュージアム<sup>[9m 17]</sup>。1994年（平成6年）に隈研吾建築都市設計事務所が設計した「梶原町地域交流施設（現・雲の上のホテル）」の増築の一環。「雲の上のギャラリー」は、いわばサブタイトル。

- 川棚の杜 山口県下関市川棚温泉交流センター [35] (<http://kawatana.com/kawatananomori/index.html>)
- 安藤百福記念自然体験活動指導者養成センター [36] (<http://www.momofukucenter.jp/>)
- プロミュージアム・リサーチセンター
- 三里屯SOHO - 中国は北京市に所在する複合商業施設。
- Glass/Wood house - 別荘。
- Bamboo/Fiber - 住宅。
- 上下 - 中国は上海市に所在する店。 [37] (<http://www.shang-xia.com/en/>)
- 玉川高島屋S・C本館ファサードの改修
- 華都飯店 - レストラン。
- STONE ROOF - 別荘。

### 2011年 (平成23年)

- 巴馬口ハスカフェ - レストラン。
- 京都国際ホテル 客室モデルルーム - ホテル客室。
- 京都国際ホテル ステーキハウス近江 - レストラン。
- Mesh / Earth - 長屋。
- カフェ・クレオン - 飲食店。
- Memu Meadows - 実験住宅。 [38] (<http://www.lixil.co.jp/newsrelease/2011/126.htm>)
- Casalgrande Old House - イベントホール及びギャラリー。
- Green Cast - 複合ビル。
- スターバックスコーヒー 太宰府天満宮表参道店 - 飲食店。 [39] ([http://www.starbucks.co.jp/store/search/detail.php?id=1058&search\\_condition=%E7%A6%8F%E5%B2%A1%E7%9C%8C&pref\\_code=40&pageID=3](http://www.starbucks.co.jp/store/search/detail.php?id=1058&search_condition=%E7%A6%8F%E5%B2%A1%E7%9C%8C&pref_code=40&pageID=3))
- 新津 知・芸術館 - 美術館。

**2012年（平成24年）**

- 帝京大学小学校 校舎（2代目） <sup>[41]</sup>

当年3月31日竣工<sup>[42]</sup>。東京都多摩市和田1254-6に所在<sup>[gm 18]</sup>。設計：日本設計、隈研吾建築都市設計事務所。施工：竹中工務店。第54回（2013年）BCS賞受賞<sup>[42]</sup>。

- 長岡市シティホールプラザ アオーレ長岡

当年3月竣工<sup>[43]</sup>、4月1日開業。新潟県長岡市大手通1-4-10に所在する<sup>[gm 19]</sup>、長岡市役所本庁舎などが入った複合交流施設。2012年度グッドデザイン賞、2014年度日本建築学会賞ほか、受賞多数<sup>[43]</sup>。■右列に画像あり



長岡市シティホールプラザ  
アオーレ長岡（内部）

浅草文化観光セン  
ター

- 浅草文化観光センター

2010年（平成22年）着工<sup>[44]</sup>、2012年（平成24年）3月竣工<sup>[44]</sup>、同年4月20日開業<sup>[45]</sup>。東京都台東区雷門2-18-9に所在する<sup>[gm 20]</sup>、観光案内を主とする多目的施設。2012年度グッドデザイン賞受賞<sup>[45][44]</sup>。■右列に画像あり

- ガーデンテラス宮崎ホテル&リゾート

当年9月納品<sup>[2]</sup>。宮崎県宮崎市下原町247-18に所在<sup>[gm 21]</sup>。テーマは「竹とガラスと水」<sup>[2]</sup>。隈の母方の祖母は、国内民間パイロットの先駆者であった後藤勇吉の姉に当たり、後藤は宮崎県延岡市出身ということで<sup>[2]</sup>、係る縁は当ホテルの盛んに謳うところでもある<sup>[2]</sup>。

- マルセイユ現代美術センター（FRAC マルセイユ） <sup>[46]</sup>

当年12月竣工<sup>[47]</sup>、2013年（平成25年）1月開館。フランス南東部のマルセイユ（20 Boulevard de Dunkerque, 13002 Marseille）<sup>[gm 22]</sup>に所在する美術館。

**2013年（平成25年）**

- GINZA KABUKIZA <sup>[48][49][\* 1]</sup>

当年2月28日竣工<sup>[48]</sup>（歌舞伎座は2月26日竣工、4月2日開館）。歌舞伎専用劇場「歌舞伎座」とオフィスビル「歌舞伎座タワー」で構成された複合ビル。東京都中央区銀座4-12-15に所在<sup>[gm 23]</sup>。設計：三菱地所設計、共同設計：（意匠）隈研吾建築都市設計事務所<sup>[48]</sup>。施工：清水建設<sup>[48]</sup>。■右列に画像あり



GINZA KABUKIZA

サニーヒルズ南  
青山店

- オリーブベイホテル <sup>[50][51]</sup>

当年2月竣工<sup>[50]</sup>、4月12日開業<sup>[51]</sup>。長崎県西海市大島町1577-8に所在するリゾートホテル。設計監理：隈研吾建築都市設計事務所<sup>[50]</sup>。施工：鹿島建設<sup>[50]</sup>。

- JPタワー 商業施設「KITTE」

当年3月21日開業。東京都千代田区丸の内2-7-7-2に所在<sup>[gm 24]</sup>。内装環境設計を手がけた。

- サニーヒルズ南青山店 <sup>[52]</sup>

当年9月竣工<sup>[53]</sup>。東京都港区南青山3-10-20に所在<sup>[gm 25]</sup>。台湾資本のケーキ屋「微熱山丘（サニーヒルズ）」の東京第1号店舗<sup>[53]</sup>。日本伝統の木造建築技法である組木格子「地獄組み」を全面的に使用<sup>[53][54]</sup>。■右列に画像あり

**2014年（平成26年）**

- 大樋美術館 併設館「大樋ギャラリー」

当年春に改装完工<sup>[55]</sup>。石川県金沢市橋場町2-17に所在<sup>[gm 26]</sup>。ギャラリーや茶室など館内施設の改装を設計監理<sup>[55]</sup>。

- ダイワユビキタス学術研究館

2012年（平成24年）10月着工<sup>[56]</sup>、2014年（平成26年）5月14日竣工<sup>[56]</sup>。東京大学本郷キャンパス内の東京都文京区本郷7-1-2に所在する<sup>[gm 27]</sup>、東京大学大学院情報学環の研究棟<sup>[56]</sup>。大和ハウス工業の寄付で建てられた<sup>[57]</sup>。総合監修：坂村健（ユビキタスコンピューティング提唱者、東京大学大学院情報学環 教授）<sup>[56]</sup>。設計：隈研吾（東京大学大学院工学系研究科 教授）<sup>[56]</sup>及び設計事務所。施工：大和ハウス工業<sup>[56]</sup>。

**2010年代後半****2015年（平成27年）**

- 十和田市 市民交流プラザ「トワレ」 <sup>[58]</sup>（設計事務所での名称：十和田市民交流プラザ<sup>[59]</sup>）

当年1月竣工<sup>[59]</sup>、10月14日開館<sup>[58]</sup>。青森県十和田市稲生町18-33に所在する、市の多目的交流施設<sup>[58][gm 28]</sup>。

- としまエココミュニゼタウンビル

当年3月2日竣工、5月7日開業の超高層ビル。東京都豊島区南池袋2-45-1に所在<sup>[gm 29]</sup>。豊島区役所本庁舎と商業施設と超高層マンションがテナントとして入っており、マンション一体型本庁舎として日本初。隈研吾建築都市設計事務所は、外観と一部内観のデザインを協力担当。2015年度グッドデザイン賞受賞、第58回（2017年度）BCS賞受賞。■右列に画像あり



としまエコミュージゼ  
タウンビル

- 京王電鉄 高尾山口駅 駅舎

当年4月24日に改築完工。東京都八王子市高尾町2241に所在<sup>[gm 30]</sup>。2016年（平成28年）9月29日、グッドデザイン賞を受賞。■右列に画像あり

- TOYAMAキラリ<sup>[60]</sup>

2013年（平成25年）5月着工、2015年（平成27年）5月9日一部竣工、6月8日開業、8月完工<sup>[60]</sup>。富山県富山市西町5-1に所在<sup>[gm 31]</sup>。富山市ガラス美術館、富山市立図書館本館、富山第一銀行本店が入る複合施設<sup>[60]</sup>。設計：アール・アイ・エー（RIA）、隈研吾建築都市設計事務所、三四五建築研究所共同企業体（JV）。施工：清水建設、佐藤工業JV。



高尾山口駅 駅舎

- 中国美術学院民芸博物館

当年7月12日開館<sup>[61]</sup>。中国美術学院の中国杭州市にあるキャンパス内に所在する博物館。中国初の民芸博物館<sup>[61]</sup>。茶畑であった山の斜面の地形を生かして、菱形の屋根をつづら折りに連続させた多面体の建築物。

- 虹口SOHO<sup>[62]</sup>

2011年（平成23年）11月着工、2015年（平成27年）10月竣工<sup>[63]</sup>。中国の上海市虹口区吴淞路575号に所在するオフィスビル<sup>[62][gm 32]</sup>。

- 首都圏中央連絡自動車道菫蒲パーキングエリア - 内装デザインを監修。[40]  
([https://www.e-nexo.co.jp/pressroom/press\\_release/head\\_office/h27/1016/](https://www.e-nexo.co.jp/pressroom/press_release/head_office/h27/1016/))

- Hikari（フランス リヨン）



KITTE博多



1階通路・セットバック、2階デッキの天井

## 2016年（平成28年）

- 西武鉄道観光電車 西武 旅するレストラン「52席の至福」 - 鉄道車両、外装・内装デザインを監修。
- スイス連邦工科大学ローザンヌ校
- 桐朋学園音楽部門 仙川新キャンパス
- KITTE博多 - 1階通路・セットバック、2階デッキの天井をデザイン。■右列に画像あり。

## 2017年（平成29年）

- 成城木下病院

東京都世田谷区成城6-13-20に所在<sup>[gm 33]</sup>。2012年（平成24年）受注、2017年（平成29年）2月竣工<sup>[64]</sup>、同年12月納品<sup>[65]</sup>。病院の設計はこれが初。

- 東洋大学赤羽台キャンパス
- 成田リハビリテーション病院
- 南三陸さんさん商店街 [41] (<http://www.sansan-minamisanriku.com/>)
- 栄光学園中学校・高等学校 校舎（2代目） [42] (<http://ekh.jp/70th/>)

出身校という縁もあり、隈が設計監修。2017年度グッドデザイン賞受賞。

- 観音崎京急ホテルモバイルハウス「住箱-JYUBAKO-」 - スノーピークとのコラボレーション。[43] (<http://www.kannon-kqh.co.jp/lp/glamping/>)
- 一行院 千日谷浄苑 - はせがわの屋内墓苑。
- 碧海信用金庫御園支店（愛知県名古屋市中区） [44] (<http://www.hekishin.jp/release/files/7745cbbdc28acc79f77e53bcadfc4d46.pdf>)
- グランドメゾン御園座タワー - 愛知県名古屋市中区

## 2018年（平成30年）

- 日本ハウスホールディングス（旧・東日本ハウス）50周年記念モデルハウス [45] (<https://www.nihonhouse-hd.co.jp/topics/50th-modelhouse/>)
- ヴィクトリア&アルバート博物館ダンディー分館（イギリス）<sup>[66]</sup>
- 日本橋三越本店（第1期リニューアル） [46] (<https://www.fashionsnap.com/article/2018-10-24/minihonbashi-open/>)
- 富岡市役所新庁舎
- パークコート赤坂檜町ザ・タワー - グッドデザイン賞受賞。
- 道の駅おおよ

- 守山市立図書館

#### 2019年（平成31年／令和元年）

- ANA国内線ラウンジのリニューアル（伊丹・福岡・那覇空港）<sup>[67]</sup>、および、国際線旅客機ビジネスクラス個室の監修<sup>[68]</sup>

いずれも2月納品<sup>[67]</sup>。

- オドゥンバザル近代美術館<sup>[69][70][71]</sup>

トルコのエスキシェヒルに所在する私立美術館<sup>[72]</sup>。9月8日開館<sup>[70]</sup>。地元トルコのポリメクス社 (en) の創業者にしてCEOであるエロル・タバンジヤの私的な近現代美術コレクションを収蔵・展示する<sup>[71]</sup>。展示施設の総面積 4,500 m<sup>2</sup> (3フロア)<sup>[70][71]</sup>。

- 明治神宮ミュージアム<sup>[73][74][75][69]</sup>

明治神宮の杜の中（参道の脇）、東京都渋谷区代々木神園町1-1-1に所在。10月26日開館<sup>[74]</sup>。鎮座百年祭記念事業の一環として建設された<sup>[73][74]</sup>。東日本大震災で被災して一時休館を余儀なくされた宝物殿（1921年竣工。設計：大江新太郎。重要文化財）に替わり、社宝の数々を収納している<sup>[73][74]</sup>。展示施設の総面積 3,200 m<sup>2</sup><sup>[73]</sup>。

- 国立競技場<sup>[76][77][78][79]</sup>

2016年（平成28年）12月11日着工、2019年（令和元年）11月30日竣工<sup>[80]</sup>。2020年東京オリンピック・パラリンピックのメインスタジアムとしての使用が開館年最大の予定イベント。47都道府県で産する木材を大量に使用しており、都道府県の日本列島における地理的位置（方角）に合わせて東西南北の然るべき所に配置している。樹木の多い周辺環境との調和も重視されている。■右列に画像あり。



国立競技場（竣工直前）

#### 2020年代前半

##### 2020年（令和2年）

- 

#### 進行中

進行中の主な建築プロジェクトを記載する。

- Aix en Provence Conservatory of Music（フランス）
- Granada Performing Arts Center（スペイン）
- Fond Regional d'Art Contemporain（フランス）
- Besancon City of Arts and Culture（フランス）
- Musée d'Histoire Maritime de Saint-Malo サン・マロ（フランス）
- サン＝ドニ＝ブレイエル駅（フランス）

<sup>[47]</sup>([https://www.sekisuihouse.co.jp/company/topics/datail/\\_icsFiles/afiedfile/2015/03/27/20150327\\_1.pdf](https://www.sekisuihouse.co.jp/company/topics/datail/_icsFiles/afiedfile/2015/03/27/20150327_1.pdf))

- 広報文化施設ジャパン・ハウス（仮称、ブラジル） - 設計デザイン監修<sup>[81][82]</sup>
- ところざわサクラタウン（角川武蔵野ミュージアム）
- 渋谷駅地区駅街区開発計画
- JR東日本 高輪ゲートウェイ駅
- 早稲田大学国際文学館
- 石垣市役所新庁舎
- 千葉市役所新庁舎
- 伊丹市役所新庁舎
- 守山市役所新庁舎
- 兵庫県庁舎新庁舎
- 米原駅東口周辺まちづくりプロジェクト「宿場町構想」<sup>[83]</sup>

#### パビリオン作品

- 2005年（平成17年）
  - 織部の茶室<sup>[48]</sup> (<http://www.cpm-gifu.jp/>)
  - KXK<sup>[49]</sup> (<http://www.murakamo.com/web/sample/kxk/index.html>)
  - ペーパースネーク<sup>[50]</sup> (<http://apap2010.org/>)
  - t-room<sup>[51]</sup> ([http://www.kanazawa21.jp/alternative\\_paradise/index.html](http://www.kanazawa21.jp/alternative_paradise/index.html))
- 2007年（平成19年）

- CIDORI (チドリ)
  - 水ブロック
  - Tee Haus
  - ストーン カード キャッスル [52] ([http://www.ilcasone.it/web/magazine\\_post.php?valo=j\\_20\\_5](http://www.ilcasone.it/web/magazine_post.php?valo=j_20_5))
  - Two Carps [53] ([http://en.bcbiennial.info/the-exhibition\\_2021176.html](http://en.bcbiennial.info/the-exhibition_2021176.html))
  - 浮庵 (ファン)
- 2008年 (平成20年)
  - カサ・アンブレラ
  - Water Branch House [54] (<http://www.momahomedelivery.org/>)
  - ポリゴニウム [55] (<http://www.kanaya-rakuichi.jp/>)
- 2009年 (平成21年)
  - Con / Fiber (コンファイバー) [56] (<http://tokyofiber.com/>)
- 2010年 (平成22年)
  - CERAMIC YIN YANG [57] ([http://www.casalgrandepadana.com/index.cfm/1,224,18\(Kuma-at-Interni-Think-Tank\)](http://www.casalgrandepadana.com/index.cfm/1,224,18(Kuma-at-Interni-Think-Tank)))
  - Air Brick [58] (<http://www.shanghaigalleryofart.com/>)
  - セラミッククラウド [59] ([http://www.casalgrandepadana.com/index.cfm/1,869,17\(Ceramic-Cloud\)](http://www.casalgrandepadana.com/index.cfm/1,869,17(Ceramic-Cloud)))
- 2011年 (平成23年)
  - 泡でつつむ [60] (<http://www.dojimariver.com/>)

## 出演

- YouTube 「デザイン特講」『1/2隈研吾 (<https://www.youtube.com/watch?v=n55gW6SZyS8&feature=related>)』 2009年3月27日
- YouTube 「デザイン特講」『2/2隈研吾 (<https://www.youtube.com/watch?v=TmLfaKlrSK0&feature=related>)』 2009年3月27日
- プロフェッショナル 仕事の流儀 (日本テレビ、2007年4月10日) <sup>[84]</sup>
- オデッサの階段 (フジテレビ、2013年2月7日)
- アナザー・スカイ (日本テレビ、2017年1月20日)

## 隈事務所出身の建築家

- 原田真宏
- 中村拓志
- 小川博央
- 押尾章治
- 藤原徹平
- 松島潤平
- 廣瀬大祐 (ARCHICOMPLEX主宰)
- 本瀬あゆみ

## その他

- 新建築住宅設計競技、長谷工住まいのデザインコンペティション、せんだいデザインリーグ2010など審査員を歴任。

## 脚注

### 注釈

- ↑ 「GINZA KABUKIZA」は歌舞伎座と歌舞伎座タワーという2つの施設が合体した物件の名称であって、「GINZA KABUKIZA = 歌舞伎座タワー」ではない。

Googleマップ

- ↑ 南青山2-14-17 (地図 (<https://maps.google.com/maps?&q=南青山2-14-17&ie=UTF8&t=h&z=12>) - Google マップ) ※該当施設は赤色でスポット表示される。基本的に以下同様。
- ↑ 都住創ラスティック (地図 (<https://maps.google.com/maps?&q=都住創ラスティック&ie=UTF8&t=h&z=12>) - Google マップ)
- ↑ ドーリック南青山 (地図 (<https://maps.google.com/maps?&q=ドーリック南青山&ie=UTF8&t=h&z=12>) - Google マップ)
- ↑ 東京メモリードホール (地図 (<https://maps.google.com/maps?&q=東京メモリードホール&ie=UTF8&t=h&z=12>) - Google マップ)
- ↑ 鬼ノ城ゴルフ倶楽部 (地図 (<https://maps.google.com/maps?&q=鬼ノ城ゴルフ倶楽部&ie=UTF8&t=h&z=12>) - Google マップ)
- ↑ 亀老山展望台 (地図 (<https://maps.google.com/maps?&q=亀老山展望台&ie=UTF8&t=h&z=12>) - Google マップ)
- ↑ 海峯楼 (地図 (<https://maps.google.com/maps?&q=海峯楼&ie=UTF8&t=h&z=12>) - Google マップ)
- ↑ 玉川村竜崎滝山12-26 (地図 (<https://maps.google.com/maps?&q=玉川村竜崎滝山12-26&ie=UTF8&t=h&z=12>) - Google マップ)
- ↑ 富岡市小桑原432 (地図 (<https://maps.google.com/maps?&q=富岡市小桑原432&ie=UTF8&t=h&z=12>) - Google マップ)
- ↑ 伝統芸能伝承館森舞台 (地図 (<https://maps.google.com/maps?&q=伝統芸能伝承館森舞台&ie=UTF8&t=h&z=12>) - Google マップ)
- ↑ 石巻市水押3-6-1 (地図 (<https://maps.google.com/maps?&q=石巻市水押3-6-1&ie=UTF8&t=h&z=12>) - Google マップ)
- ↑ 構原町構原1444-1 (地図 (<https://maps.google.com/maps?&q=構原町構原1444-1&ie=UTF8&t=h&z=12>) - Google マップ)
- ↑ Z58 (地図 (<https://maps.google.com/maps?&q=Z58&ie=UTF8&t=h&z=12>) - Google マップ)

14.  南青山6-5-1 (地図 (<https://maps.google.com/maps?&q=南青山6-5-1&ie=UTF8&t=h&z=12>) - Google マップ)
15.  東急キャピトルタワー (地図 (<https://maps.google.com/maps?&q=東急キャピトルタワー&ie=UTF8&t=h&z=12>) - Google マップ)
16.  まちの駅「ゆずはら」 (地図 (<https://maps.google.com/maps?&q=まちの駅ゆずはら&ie=UTF8&t=h&z=12>) - Google マップ)
17.  梶原 木橋ミュージアム (地図 (<https://maps.google.com/maps?&q=梶原木橋ミュージアム&ie=UTF8&t=h&z=12>) - Google マップ)
18.  帝京大学小学校 (地図 (<https://maps.google.com/maps?&q=帝京大学小学校&ie=UTF8&t=h&z=12>) - Google マップ)
19.  シティホールプラザ アオーレ長岡 (地図 (<https://maps.google.com/maps?&q=シティホールプラザアオーレ長岡&ie=UTF8&t=h&z=12>) - Google マップ)
20.  浅草文化観光センター (地図 (<https://maps.google.com/maps?&q=浅草文化観光センター&ie=UTF8&t=h&z=12>) - Google マップ)
21.  ガーデンテラス宮崎ホテル&リゾート (地図 (<https://maps.google.com/maps?&q=ガーデンテラス宮崎ホテル&リゾート&ie=UTF8&t=h&z=12>) - Google マップ)
22.  FRAC Marseille (地図 ([https://maps.google.com/maps?&q=FRAC\\_Marseille&ie=UTF8&t=h&z=12](https://maps.google.com/maps?&q=FRAC_Marseille&ie=UTF8&t=h&z=12)) - Google マップ)
23.  銀座4-12-15 (地図 (<https://maps.google.com/maps?&q=銀座4-12-15&ie=UTF8&t=h&z=12>) - Google マップ)
24.  JPタワー (地図 (<https://maps.google.com/maps?&q=JPタワー&ie=UTF8&t=h&z=12>) - Google マップ)
25.  サニーヒルズ南青山 (地図 (<https://maps.google.com/maps?&q=サニーヒルズ南青山&ie=UTF8&t=h&z=12>) - Google マップ)
26.  大樋美術館 (地図 (<https://maps.google.com/maps?&q=大樋美術館&ie=UTF8&t=h&z=12>) - Google マップ)
27.  ダイワユビキタス学術研究館 (地図 (<https://maps.google.com/maps?&q=ダイワユビキタス学術研究館&ie=UTF8&t=h&z=12>) - Google マップ)
28.  十和田市 市民交流プラザ (地図 (<https://maps.google.com/maps?&q=十和田市市民交流プラザ&ie=UTF8&t=h&z=12>) - Google マップ)
29.  南池袋2-45-1 (地図 (<https://maps.google.com/maps?&q=南池袋2-45-1&ie=UTF8&t=h&z=12>) - Google マップ)
30.  八王子市高尾町2241 (地図 (<https://maps.google.com/maps?&q=八王子市高尾町2241&ie=UTF8&t=h&z=12>) - Google マップ)
31.  TOYAMAキラリ (地図 (<https://maps.google.com/maps?&q=TOYAMAキラリ&ie=UTF8&t=h&z=12>) - Google マップ)
32.  虹口SOHO (地図 (<https://maps.google.com/maps?&q=虹口SOHO&ie=UTF8&t=h&z=12>) - Google マップ)
33.  成城6-13-20 (地図 (<https://maps.google.com/maps?&q=成城6-13-20&ie=UTF8&t=h&z=12>) - Google マップ)

## 出典

1.  <sup>a</sup> <sup>b</sup> 【国内12月20日発売予定】隈 研吾 × アシックス メタライド アム ホワイト (<https://sneakerwars.jp/items/view/11162>)アシックス (2019年12月28日閲覧)
2.  <sup>a</sup> <sup>b</sup> <sup>c</sup> <sup>d</sup> <sup>e</sup> ”隈研吾さん、後藤勇吉と親戚 本県ホテルも設計” (<https://www.the-miyanichi.co.jp/special/happynews/detail.php?detailid=1510045289>).『宮崎日日新聞』(宮崎日日新聞社). (2015年12月23日) 2019年7月1日閲覧。
3.  <sup>a</sup> <sup>b</sup> ”新国立競技場 迷走ようやくピリオド「和の大家」デザイン” (<https://mainichi.jp/sportsspecial/articles/20151222/k00/00>)『毎日新聞』(毎日新聞社). (2015年12月22日) 2019年7月1日閲覧。
4.  『長崎倶楽部』No.31 巻頭インタビュー-22「私と長崎」([http://www20.big.jp/~nkenjin/data/n001/005\\_02.pdf](http://www20.big.jp/~nkenjin/data/n001/005_02.pdf)) 2006年8月1日
5.  <sup>a</sup> <sup>b</sup> <sup>c</sup> 外苑の森に「杜のオリンピックスタジアム」をつくる(上) (<http://style.nikkei.com/article/DGXMZ005357300Y6A720C100channel=DF180320167075>) - NIKKEI STYLE (2016年8月4日) 2019年12月28日閲覧。
6.  <sup>a</sup> <sup>b</sup> 第4回 構造を知りたい (<http://www.1101.com/fujin-ido/74.html>)ほぼ日刊イトイ新聞 (2019年11月30日閲覧)
7.  隈研吾、三浦展『三低主義 (<http://books.google.co.jp/books?id=DY2Wmzzu2tsC&printsec=frontcover&dq=%E4%B8%89%E4%BD%8E%E4%B8%BB%E7%BE%A9&hl=ja&sa=X&ei=81XFUPm1K6famAWz14G4DA&ved=0CDkC>) (NTT出版)
8.  <sup>a</sup> <sup>b</sup> Com-et TOTO (<http://www.com-et.com/colonne/002/kuma/04.htm>)
9.  <sup>a</sup> キーマンが語るトウキョウ地図 第1回 建築家 隈研吾氏「都市を前に進める新たなエンジンが必要」 (<http://token.or.jp/magazine/g201104.html>)『東建月報』2011年4月号 (社団法人東京建設業協会) 2019年11月30日閲覧
10.  <sup>a</sup> 【新しい建築の鼓動2010】自分の道が分からずもがき苦しむ、隈研吾氏に聞く(1) (<http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/column/20091111>)日経アーキテクチュア (2009年11月19日) 2019年11月30日閲覧
11.  <sup>a</sup> 【新しい建築の鼓動2010】「負ける建築」を体で覚える、隈研吾氏に聞く(3) (<http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/column/2009112>)日経アーキテクチュア (2009年12月1日) 2019年11月30日閲覧
12.  <sup>a</sup> 『高知新聞』 (<https://www.kochinews.co.jp/article/97520/>)
13.  <sup>a</sup> テレビ東京『カンブリア宮殿』2011年8月4日放送 (<http://www.tv-tokyo.co.jp/cambria/list/list20110804.html>)
14.  <sup>a</sup> 【聞く語る】新国立競技場の設計を手掛けた建築家隈研吾さん「五輪・パラは、子供たちが新しい世界に触れるチャンス」「時代が求める幸せは、木に象徴される優しさや柔らかさ」『北海道新聞』朝刊2019年11月30日 (8面)
15.  <sup>a</sup> プレスステージジャパン、隈研吾氏デザインの家具 (<https://www.nikkei.com/article/DGKKZ026845600T10C18A2TJ>)『日本経済新聞』朝刊2018年2月14日
16.  <sup>a</sup> 【隈研吾】生物に重要なのは「粒状感」 日本建築文化保存協会で作成の原点語る ([http://kensetsunewspickup.blogspot.jp/2016/12/blog-post\\_7.html](http://kensetsunewspickup.blogspot.jp/2016/12/blog-post_7.html)) - 建設通信新聞の公式記事ブログ、2016年12月7日
17.  <sup>a</sup> 再発見、日本建築の底力―『自然な建築』(隈研吾著) (<http://jbpres.ismedia.jp/articles/-/452>) (JBpress (<http://jbpres.ismedia.jp/>) 隈研吾インタビュー)
18.  <sup>a</sup> 『朝鮮日報』2014年6月8日 ([http://www.chosunonline.com/site/data/html\\_dir/2014/06/08/](http://www.chosunonline.com/site/data/html_dir/2014/06/08/)) (リンク切れ、記事名不明)
19.  <sup>a</sup> くまのもの 隈研吾とささやく物質、かたる物質 ([http://www.ejrcc.or.jp/gallery/exhibition/201803\\_kengo.html](http://www.ejrcc.or.jp/gallery/exhibition/201803_kengo.html)) 東京ステーションギャラリー (2018年3月26日閲覧)
20.  <sup>a</sup> 隈研吾さんの30年「くまのもの」展／環境との調和 新境地開けた『読売新聞』朝刊2018年3月22日 (文化面)

21.  村上春樹ライブラリー構想による国際文学館を設置 設計は隈研吾氏 (<https://www.waseda.jp/top/news/65505>) - 早稲田大学オフィシャルサイト、2019年6月19日
22.  “M2” (<https://kkaa.co.jp/works/architecture/m2/>)。公式ウェブサイト。隈研吾建築都市設計事務所。2019年7月3日閲覧。
23.  “東京メモリードホール” (<http://www.tokyo-memolead.co.jp/facility/tokyo.html>)。メモリード東京 (公式ウェブサイト)。株式会社メモリード。2019年7月3日閲覧。
24.  “橋原町総合庁舎” ([https://www.pbaweb.jp/img/content/14\\_yusuhara.pdf](https://www.pbaweb.jp/img/content/14_yusuhara.pdf)) (PDF)。公式ウェブサイト。公共建築協会。2019年7月1日閲覧。
25.  “Z58” (<https://kkaa.co.jp/works/architecture/z58/>)。公式ウェブサイト。隈研吾建築都市設計事務所。2019年7月3日閲覧。
26.  “美術館略年表” (<http://www.nezu-muse.or.jp/jp/about/history.html>)。公式ウェブサイト。根津美術館。2019年7月1日閲覧。
27.  “施設概要” (<http://www.nezu-muse.or.jp/jp/about/outline.html>)。公式ウェブサイト。根津美術館。2019年7月1日閲覧。
28.  “BCS賞 第52回受賞作品 (2011年) 根津美術館” (<http://www.nikkenren.com/kenchiku/bcs/detail.html?r=w&ci=827>)。公式ウェブサイト。日本建設業連合会。2019年7月7日閲覧。
29.  “隈研吾” (<http://prizesworld.com/prizes/name/%E9%9A%88%E7%A0%94%E5%90%BE>)。文学賞の世界 (個人ウェブサイト)。個人。2019年7月1日閲覧。
30.  “西沢立衛 (2010年). “107 特集 GA JAPAN” ([https://gadata.co.jp/japanese/ga\\_japan/gaj107.html](https://gadata.co.jp/japanese/ga_japan/gaj107.html))。GA JAPAN. A.D.A.EDITA Tokyo。2020年1月6日閲覧。
31.  “まちの駅「ゆすはら」” (<https://kkaa.co.jp/works/architecture/community-market-yusuhara/>)。公式ウェブサイト。隈研吾建築都市設計事務所。2019年7月3日閲覧。
32.  “橋原町役場。 “まちの駅「ゆすはら」” (<http://www.town.yusuhara.kochi.jp/kanko/kuma-kengo/town-station.html>)。橋原町×隈研吾建築物 (公式ウェブサイト)。橋原町。2019年7月3日閲覧。
33.  “マルシェ・ユスハラ” (<http://y-marche.jp/>)。公式ウェブサイト。雲の上のホテル別館 マルシェ・ユスハラ。2019年7月3日閲覧。
34.  “赤城神社・パークコート神楽坂” (<https://kkaa.co.jp/works/architecture/akagi-jinja-park-court-kagurazaka/>)。隈研吾建築都市設計事務所。2020年1月6日閲覧。
35.  “赤城神社 - 東京都新宿区 - 社殿は隈研吾設計 - 神楽坂駅1分” (<http://www.visiting-japan.com/ja/articles/tokyo/j13sj-kagurazaka-akagi.htm>)。伝統の日本紀行。2020年1月6日閲覧。
36.  “再生プロジェクトで新しくなった牛込総鎮守 - 赤城神社 / 東京都新宿区” (<https://jinjamemo.com/archives/post-8132.html>)。御朱印・神社メモ。2020年1月6日閲覧。
37.  “牧田司 (記者) 「隈研吾氏がデザイン監修 三井不動産レジデンシャル「パークコート神楽坂」分譲” ([https://www.dai3.co.jp/\\_old\\_hp/rbayakyu/21th/times/news30](https://www.dai3.co.jp/_old_hp/rbayakyu/21th/times/news30)) 『RBAタイムズ』第三企画株式会社、2009年11月4日。2020年1月6日閲覧。
38.  “岡本郁雄 (2010年09月01日更新). “神社がマンションに！パークコート神楽坂が竣工 「赤城神社再生プロジェクト」として造られた「パークコート神楽坂」が竣工しました。事業スキームとして定期借地権方式を採用し、神社とマンションを一体で造ったかつてない希少なプロジェクト。竣工した全貌を紹介します。” (<https://allabout.co.jp/gm/gc/187717/>)。All About。株式会社オールアバウト。2020年1月6日閲覧。
39.  “パークコート神楽坂” (<https://www.axel-home.com/009274.html>)。株式会社アクセルホーム。2020年1月6日閲覧。
40.  “橋原 木橋ミュージアム” (<https://kkaa.co.jp/works/architecture/yusuhara-wooden-bridge-museum/>)。公式ウェブサイト。隈研吾建築都市設計事務所。2019年7月3日閲覧。
41.  “隈研吾建築都市設計事務所: 帝京大学小学校” (<http://makeseen.com/kengo-kuma-and-associates-teikyo-university-elementary-school/>)。公式ウェブサイト。MakeSeen (2013年6月11日)。2019年7月2日閲覧。
42.  “帝京大学小学校” (<https://www.nikkenren.com/kenchiku/bcs/detail.html?r=2013&ci=864>)。公式ウェブサイト。一般社団法人日本建設業連合会。2019年7月2日閲覧。
43.  “アオーレ長岡” (<https://kkaa.co.jp/works/architecture/nagaoka-city-hall-aore/>)。公式ウェブサイト。隈研吾建築都市設計事務所。2019年7月2日閲覧。
44.  “浅草文化観光センター” (<https://kkaa.co.jp/works/architecture/asakusa-culture-tourist-information-center/>)。公式ウェブサイト。隈研吾建築都市設計事務所。2019年7月2日閲覧。
45.  “複合文化施設 [浅草文化観光センター” (<https://www.g-mark.org/award/describe/39399/>)。グッドデザイン賞 (公式ウェブサイト)。公益財団法人日本デザイン振興会。2019年7月2日閲覧。
46.  “隈研吾建築都市設計事務所：FRAC マルセイユ” (<http://makeseen.com/kengo-kuma-frac-marseille/>)。公式ウェブサイト。MakeSeen (2013年6月11日)。2019年7月2日閲覧。
47.  “マルセイユ現代美術センター” (<https://kkaa.co.jp/works/architecture/frac-marseille/>)。公式ウェブサイト。隈研吾建築都市設計事務所。2019年7月2日閲覧。
48.  “GINZA KABUKIZA 歌舞伎座・歌舞伎座タワー” (<https://www.mj-sekkei.com/project/527>)。公式ウェブサイト。三菱地所設計。2019年7月1日閲覧。
49.  “GINZA KABUKIZA ～設計監理～” (<http://www.mec.co.jp/j/service/project/project05/>)。公式ウェブサイト。三菱地所 (2016年3月7日更新)。2019年7月2日閲覧。
50.  “鈴木諭 (菱電工エレベーター施設株式会社 福岡支店 設計部) (2014年4月20日). “オリーブベイホテル - 『Elevator Journal』 No.1 2014.4.20” (<https://www.n-elekyo.or.jp/about/elevatorjournal/pdf/journal>) (PDF)。公式ウェブサイト。一般社団法人日本エレベーター協会。2019年7月2日閲覧。
51.  “特別企画 オリーブベイホテル開業 オリーブの入江に、理想郷を築いた開拓者たち” ([http://sci.hitsdb.net/pdf\\_lib/articles/130517-43-51.pdf](http://sci.hitsdb.net/pdf_lib/articles/130517-43-51.pdf)) (PDF)。公式ウェブサイト。オリーブベイホテル、HITS (2013年5月17日)。2019年7月2日閲覧。
52.  “サニーヒルズ南青山店” (<https://www.sunnyhills.com.tw/store/ja-jp/>)。公式ウェブサイト。2019年7月1日閲覧。
53.  “サニーヒルズ南青山” (<http://www.satohide.co.jp/works/02/02-14.html>)。公式ウェブサイト。株式会社 佐藤秀。2019年7月1日閲覧。■良質な画像と映像あり。
54.  “地獄組について” (<http://sunnyhillsjapan.blogspot.com/2015/06/blog-post.html>)。サニーヒルズGM日記 (公式ブログ)。株式会社佐藤秀。2019年7月1日閲覧。

55. <sup>^</sup><sup>^</sup><sup>^</sup> <sup>^</sup><sup>^</sup> “大樋ギャラリー” (<http://www.ohimuseum.com/gallery/index.html>)。公式ウェブサイト。大樋長左衛門窯／大樋美術館。2019年7月2日閲覧。
56. <sup>^</sup><sup>^</sup><sup>^</sup><sup>^</sup><sup>^</sup><sup>^</sup> “[教育研究棟『ダイワユビキタス学術研究館』竣工に伴う報道関係者向け内覧会開催について]” ([https://www.u-tokyo.ac.jp/focus/ja/press/p01\\_260514.html](https://www.u-tokyo.ac.jp/focus/ja/press/p01_260514.html) (プレスリリース), 東京大学, (2014年5月14日) 2019年7月2日閲覧。
57. <sup>^</sup> “ダイワユビキタス学術研究館 (<https://kenchiku-pers.com/photo/the-daiwa-ubiquitous-computing-research-building.html>)”。建築パス.com (公式ウェブサイト) . メガソフト株式会社。2019年7月2日閲覧。
58. <sup>^</sup><sup>^</sup><sup>^</sup> “市民交流プラザ「トワーレ」” (<http://www.city.towada.lg.jp/docs/2015111800027/>)。公式ウェブサイト (2016年4月27日)。2019年7月3日閲覧。
59. <sup>^</sup><sup>^</sup> “十和田市民交流プラザ” (<https://kkaa.co.jp/works/architecture/towada-city-plaza/>)。公式ウェブサイト。隈研吾建築都市設計事務所。2019年7月3日閲覧。
60. <sup>^</sup><sup>^</sup><sup>^</sup> “TOYAMAキラリ” (<https://kkaa.co.jp/works/architecture/toyama-kirari/>)。公式ウェブサイト。隈研吾建築都市設計事務所。2019年7月3日閲覧。
61. <sup>^</sup><sup>^</sup> 今関忠馬 (2016年7月13日)。“それでいいのか! 中国初の「民芸博物館」、設計したのが日本人だった = 中国メディア” ([https://www.excite.co.jp/news/article/Searchina\\_20160717/](https://www.excite.co.jp/news/article/Searchina_20160717/))。エキサイトニュース (エキサイト) 2-19-07-03閲覧。
62. <sup>^</sup><sup>^</sup> “虹口SOHO (<https://www.sohochina.com/project.aspx?projectid=24>)”。公式ウェブサイト。SOHOCHINA。2019年7月3日閲覧。
63. <sup>^</sup> “虹口SOHO (<https://kkaa.co.jp/works/architecture/hongkou-soho/>)”。公式ウェブサイト。隈研吾建築都市設計事務所 (2016年6月29日)。2019年7月3日閲覧。
64. <sup>^</sup> “成城木下病院 (<https://kkaa.co.jp/works/architecture/green-hospital/>)”。公式ウェブサイト。隈研吾建築都市設計事務所 (2017年8月23日)。2019年7月1日閲覧。
65. <sup>^</sup> “成城木下病院” (<https://www.timeandstyle.com/project/4273/>)。TIME & STYLE (公式ウェブサイト) . 株式会社プレステージジャパン。2019年7月1日閲覧。
66. <sup>^</sup> スコットランドに美術館 = 新国立の隈研吾氏設計” (<https://www.jiji.com/jc/article?k=2018091300247&g=soc>) AFP時事通信 (2018年9月13日) 2018年9月24日閲覧。。
67. <sup>^</sup><sup>^</sup> “伊丹・福岡・那覇空港 隈研吾氏監修のANA国内線ラウンジがリニューアルオープン” ([https://www.anahd.co.jp/ana\\_news/2019/06/11/2019061](https://www.anahd.co.jp/ana_news/2019/06/11/2019061)) (プレスリリース), ANA, (2019年6月11日) 2019年7月24日閲覧。
68. <sup>^</sup> ANAホールディングス 広報・コーポレートブランド推進部 (2019年7月11日)，“国際線の機内空間を一新し、最上級のくつろぎ空間を実現します” (<https://www.ana.co.jp/group/pr/201907/20190711.html>) (プレスリリース), ANA 2019年7月24日閲覧。
69. <sup>^</sup><sup>^</sup> “162 特集 [総括と展望] 建築2019／2020” ([https://www.ga-ada.co.jp/japanese/ga\\_japan/gaj162.html](https://www.ga-ada.co.jp/japanese/ga_japan/gaj162.html))。GA JAPAN。2020年1月6日閲覧。
70. <sup>^</sup><sup>^</sup><sup>^</sup> “トルコに隈研吾設計の現代美術館が誕生” (<http://www.jwing.net/news/16850>)。jwing.net. 航空新聞社 (2019年9月12日)。2020年1月6日閲覧。
71. <sup>^</sup><sup>^</sup><sup>^</sup> “隈研吾が設計。トルコに個人美術館「オドゥンバザル近代美術館」が開館へ” (<https://bijutsutecho.com/magazine/news/headline/20372>)。美術手帖 (公式ウェブサイト) . 株式会社 BTCompany (2019年8月21日)。2020年1月6日閲覧。
72. <sup>^</sup> “「地域と歩む自然派美術館 隈研吾さん最新作、トルコで完成」『日経MJ』2019年10月23日 (デザイン面)。
73. <sup>^</sup><sup>^</sup><sup>^</sup><sup>^</sup> “明治神宮ミュージアム” (<https://kkaa.co.jp/works/architecture/meiji-jingu-museum/>)。公式ウェブサイト。隈研吾建築都市設計事務所。2020年1月6日閲覧。
74. <sup>^</sup><sup>^</sup><sup>^</sup><sup>^</sup> “2019年10月26日、明治神宮の社に隈研吾氏設計の東京・最新展示施設が開館 (<https://www.gotokyo.org/jp/new-and-now/new-and-trending/190902/topics.html>)”。GO TOKYO. 公益財団法人 東京観光財団 (TCVB)。2020年1月6日閲覧。
75. <sup>^</sup> “令和2年1月24日 (金) 「第2回 明治神宮ミュージアム開館記念レクチャー」開催 (<http://www.meijijingu.or.jp/homotsuden/>)”。明治神宮 (2020年1月)。2020年1月6日閲覧。
76. <sup>^</sup> “国立競技場 (<https://kkaa.co.jp/works/architecture/new-national-stadium-development-project/>)”。公式ウェブサイト。隈研吾建築都市設計事務所。2019年12月18日閲覧。
- <sup>^</sup> 佐保圭、酒井康治 (2019年12月17日)。“新国立競技場が創る未来のカタチ 第2回 国立競技場の設計者、隈研吾氏が語る住民視点と「負ける建築」” (<https://xtrend.nikkei.com/atcl/contents/18/00239/00002/>)。日経Xトレンド。日経BP。2019年12月17日閲覧。
78. <sup>^</sup> 秋月涼佑 (2019年7月2日)。“隈研吾設計・新国立競技場に見る「日本人の選択」” (<http://agora-web.jp/archives/2040045.html>)。アゴラ。株式会社アゴラ研究所。2019年12月17日閲覧。
79. <sup>^</sup> “新国立競技場 選ばれたA案 - 首相「誇れるレガシーに」” (<http://mainichi.jp/sportsspecial/articles/20151222/k00/00e/051>) 『毎日新聞』毎日新聞社、2015年12月22日。2015年12月22日閲覧。
30. <sup>^</sup> 前田大輔、野村周平「国立競技場の内部、初公開 一般向けのお披露目は21日” (<https://www.asahi.com/articles/ASMDF5V2TMDFUTQP02K.htm>) 『朝日新聞デジタル』朝日新聞社、2019年12月15日。2019年12月17日閲覧。
31. <sup>^</sup> ジャパンハウス = パ大通り52番に開設決定! = 18年度までに予算25億円? = 事務局長に平田アンジェラ = コロナ連携は未知数…” (<http://www.nikkeishimbun.jp/2016/160119-71colonia.html>) - 『ニッケイ新聞』2016年1月19日
32. <sup>^</sup> ジャパンハウス = 和風で奇抜な玄関が特徴 = 原、隈氏が外観を説明 = 伊勢神宮付近のヒノキ使用” (<http://www.nikkeishimbun.jp/2016/160227-71colonia.html>) - 『ニッケイ新聞』2016年2月27日
33. <sup>^</sup> “米原駅東口周辺まちづくり構想を語る” (<http://www.city.maibara.lg.jp/cmsfiles/contents/0000007/7831>) (PDF)。米原市役所 (2016年2月1日)。2017年7月18日閲覧。
34. <sup>^</sup> 第47回 隈研吾 “負ける”ことから独創が生まれる (2007年4月10日放送) (<http://www.nhk.or.jp/professional/2007/0410/>) NHK プロフェッショナル 仕事の流儀

## 外部リンク

- Kengo Kuma and Associates (<https://kkaa.co.jp/>)
- 隈研吾 (<https://www.nou-sera.com/architect/kuma.html>)
- リトアニア・日本建築フォーラム「East-East」
- 東京大学工学部 隈研吾研究室 (<http://kuma-lab.arch.t.u-tokyo.ac.jp/index.html>)

- [第56回 『私の哲学』 インタビュー 隈 研吾氏 | 株式会社インターリテラシー \(http://www.interliteracy.com/philosophy/kuma\\_k.html\)](http://www.interliteracy.com/philosophy/kuma_k.html)

▪

---

「<https://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=隈研吾&oldid=75702450>」から取得

---

最終更新 2020年1月9日 (木) 18:05 (日時は個人設定で未設定ならばUTC)。

テキストは [クリエイティブ・コモンズ 表示-継承ライセンス](#) の下で利用可能です。追加の条件が適用される場合があります。詳細は [利用規約](#) を参照してください。